



KONICA MINOLTA

秋の星座解説

S-306 (07 分 00 秒)

コニカミノルタプラネタリウム株式会社

(余裕があれば日没)

・夕焼け

0:15

M 綺麗な音楽

秋は日ごとに涼しくなり、空気も澄んで、星を眺めるには大変いい季節です。
ではこれから、辺りが暗くなるまで、しばらく待つことに
いたしましょうね！

0:30

(音楽盛り上がる)

(音楽を約1分聴く)

(だんだん星空へ)

1:30

(音楽 区切りよく終わる)

(満天の星空)

M 秋の星の音楽

1:40	・方位
1:54	・秋の四辺形線
1:57	・ペガサス座
2:08	P アンドロメダα
2:18	・アンドロメダ座
2:38	
2:42	
3:01	・カシオペヤ線
3:14	・カシオペヤ座
3:22	
3:35	

秋の星たちです。

頭の上の方を見上げると、四つの星が四辺形に並んでいます。

秋の星空のシンボル、「秋の四辺形」です。

この四辺形は、羽を持った空飛ぶ馬、天馬(てんま)ペガサスの胴体にあたります。

「ペガサス座」です。

「秋の四辺形」を作る星たちのうち、この星は、本当は隣の星座の星です。

エチオピア王家のお姫様、アンドロメダの頭に輝く星で、星座名はお姫様の名前をとって、「アンドロメダ座」と言います。

アンドロメダ姫の両手首は、鎖につながれています。

それは、アンドロメダ姫の母、カシオペヤ王妃が、海の神の怒りをかけてしまい、化け鯨の生け贄にされる様子が星座になったからです。

そのカシオペヤ王妃も星座になっています。

このアルファベットの「W」の形に並んだ星たちが「カシオペヤ座」です。

また、アンドロメダ姫を襲った化け鯨も、星座になっています。

「秋の四辺形」を使って、鯨の星座を探して見ましょう。

(音楽終わる)

・秋の四辺形線

Pデネブカイトスへ

3:43

「四辺形」のこの辺をずっと伸ばしてゆくと、明るい星に行き着きませんか？

Pデネブカイトス

これが鯨の尻尾に当たる星、「デネブカイトス」です。

そしてこれが「くじら座」。

・くじら座

4:01

この鯨がアンドロメダ姫を飲み込もうとしました。

しかし、その瞬間、「ペルセウス座」のペルセウス王子が天馬ペガサスに跨り、立ち向かいました。

その「ペルセウス座」は「アンドロメダ座」の隣に見えます。

・アンドロメダ座

4:25

ペルセウスは片方の手に持ったメデューサノ首を掲げました。

星座の絵に描かれているメデューサの首を見てみると、髪の毛の一本一本が蛇で出来ているのが分かります。

メデューサの首を見てしまった鯨は恐ろしさのあまり、固まって岩となってしまいました。

こうしてアンドロメダ姫は助け出され、二人は結婚したと、ギリシャ神話では伝えられています。

(音楽区切りよく終わる)

5:02

・秋の四辺形線

Pフォーマルハウトへ

5:08

もう一度、「秋の四辺形」を見てみましょう。
「秋の四辺形」のうち、今度はこちらの辺を伸ばしてゆきましょう。

Pフォーマルハウト

5:25

すると、明るい星に行き当たります。

・みなみのうお座

5:43

これは一等星の「フォーマルハウト」。
秋の星空の一等星はただ一つ、南の空に光るこの星「フォーマルハウト」だけ。
その「フォーマルハウト」は「みなみのうお座」の星。
魚の開いた口の部分に光ります。

M エンディング音楽

5:49

秋の天の川は北の空を中心に、大きな円を描くように流れています。

6:04

淡い光の天の川の周辺には、壮大な物語にまつわる星座が見られます。

今日、家に帰って空が晴れていたら、本当の星空を見上げてみてくださいね。そして、アンドロメダ姫にまつわるお話を思い出してみてください。

6:34

7:00

おわり